

# 令和4年度事業報告書

(令和4年4月1日から 令和5年3月31日まで)

特定非営利活動法人しょうがい生活支援の会すみか

## 1. 事業実施の方針

「障害の有無を問わず誰もが自己実現できる社会づくり」「24時間365日このまちで安心して暮らせるシステムづくり」という本法人のミッションに基づき、引き続き事業を展開した。

昨年度は新規事業となる相談支援を通じて個別ニーズに対応することで、あらためて地域の課題把握を進めると共に、法人としての収支改善を図った。新型コロナウイルス感染症（以下、「コロナ」と略す）による影響はあったものの、できる限りの感染対策をすることで、概ね計画通りに事業を継続するとともに、収支を3期ぶりに黒字化することができた。ただし、マンパワー不足による業務負担が増大しており、職員体制の強化が今後の課題となった。

## 2. 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

上記の事業実施の方針を具現化するため、以下の事業を行った。

#### ① 障害児・者の休日支援事業

支出額 657 千円

障害当事者と家族の余暇支援プログラム

障害の種別を問わない多様な障害当事者及び家族が集い、動作法により仕事や学校などの日常とは違うホッとできる時間づくりを行った。事業の安定的な継続の観点から、前年度に引き続き時間帯ごとの参加者入れ替え制にて実施した。コロナの流行による変更もあったが、できる限りの人数受け入れを行った。

実施日：動作法 11 日

実施場所：法人事務所

スタッフ数：(延べ) 講師 32 名、事務局 22 名

対象者：障害のある人及び家族

対象人数：(延べ) 利用者・家族 130 組

## ② 障害者の就労に関する事業

支出額 62 千円

リサイクルショップくるり

物品販売を通して、障害のある人の社会参加の促進を目指した。法人全体の運営体制のバランスを見ながら、事務所での販売を中心に継続を図った。

実施日：通年

実施場所：法人事務所

スタッフ数：(通年) 事務局 1 名

対象者：障害のある人や関係者 36 人

## ③ 福祉に関する相談支援事業

出額 4 千円

### A. コミュニティサロン

障害の有無にかかわらず様々な人が集える居場所づくりを行った。少人数ながら参加者のニーズが高いことを踏まえ、一人ひとりの満足度の向上に努めた。

実施日：年間 9 日 11:00～15:00

実施場所：法人事務所

スタッフ数：(通年) 事務局 2 名

対象者：(延べ) 一般市民 72 名

### B. 個別相談

福祉・心理等の専門性が必要な相談について、マンツーマンによる相談対応を行う体制をとったが、指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業で対応可能なものについては優先的に対応したこともあり、今年度は対象となる相談がなかった。

## ④ 障害児のきょうだい支援事業

実施なし

⑤健康増進事業

実施なし

⑥福祉啓発事業

支出額 987 千円

A. 障害者の居場所づくり事業（委託事業：鳥栖市）

障害当事者がそれぞれの立場や団体の利害関係を超えて集える場所『ほっとスペース』を開催し、楽しい時間を過ごしたり、悩みを共有したり、情報交換できる場所とした。昨年度オンライン対応が難しかったぴあ CAFE 参加者向けの体験会を行うなどの対策を取ったが、実際にオンライン開催することはなかった。おや CAFE については参加者のニーズに対応する目的でのオンライン対応を行った。

実施日：令和 4 年 5 月～令和 5 年 2 月（10 回）

実施場所：鳥栖市社会福祉会館

スタッフ数：（延べ）講師 38 名、ボランティア 34 名、事務局 22 名

対象者：（延べ）ぴあ CAFE61 名、おや CAFE47 名、保育 14 名、

あなたの相談室 2 名

B. 障害に関する啓発事業（委託事業：鳥栖市）

障害のある人への理解を促進するため、市民向け、行政職員向けの啓発事業を行った。話題提供者を招いての研修会、オンラインでの講義などニーズに応じて対応した。

実施日：4/28、5/15、7/20、2/27

実施場所：ひかり園、鳥栖市社会福祉会館、鳥栖市役所（2 回）、

スタッフ数：講師 2 名、ボランティア 4 名、事務局（通年）2 名

対象者：一般市民

対象人数：（延べ）66 名

C. 研修・交流事業

テーマや対象者に合わせた研修会や出張講演、交流事業等を通じて、障害や福祉に関する理解を深めた。

実施日、場所：

- 2022/05/09 [太宰府市] 筑紫女学園大学講義「知的障がい者教育方法論」  
【障害って何だろう!?～誰もが自分らしく暮らせる社会～】\*講師
- 2022/05/10 [鳥栖市] 鳥栖・三養基地域自立支援協議会こども部会  
【鳥栖三養基地域の事業所が大事にしていること】\*講師
- 2022/07/07 [佐賀市（オンライン）] 佐賀県相談支援従事者初任者研修  
【相談支援（障害児者支援）の目的と意思決定支援】  
\*当事者シンポジスト
- 2022/09/08 [基山町] 基山町民生委員児童委員協議会  
【障害って何だろう!?～誰もが自分らしく暮らせる社会～】\*講師
- 2022/09/27 [福岡市（オンライン）] 福岡県身体障害者施設協議会  
【虐待防止研修～現場に期待される対応・考え方とは～】\*講師
- 2022/10/05 [鳥栖市] 弥生が丘小学校  
【車イス体験の前に知ってほしいこと】\*講師
- 2022/11/10 [福岡市（オンライン）] 精華女子短期大学  
【障害とその人の理解】\*講師
- 2022/11/11 [吉野ヶ里町] 東脊振小学校  
【車イス体験の前に知ってほしいこと】\*講師
- 2022/11/11 [吉野ヶ里町] 吉野ヶ里歴史公園  
【ユニバーサルデザイン等に関する園内調査】\*アドバイザー
- 2022/11/21 [鳥栖市] 田代小学校  
【車イス体験の前に知ってほしいこと】\*講師
- 2022/11/25 [鳥栖市] 若葉小学校  
【車イス体験の前に知ってほしいこと】\*講師
- 2022/12/18 [埼玉県（オンライン）]  
心理リハビリテーションの会全国大会（埼玉大会）  
【シンポジウム・トレーニー企画】\*助言
- 2023/2/7 [神崎市] 三神地区障がい者（児）教育と福祉研修大会  
【本人の幸せを願う意思決定支援】\*司会
- 2023/2/14 [鳥栖市] 鳥栖・三養基地域自立支援協議会こども部会  
【ヤングケアラーについて】\*講師
- 2023/2/24 [八女市] 八女市障がい者基幹相談支援センター  
【誰もが自分らしく暮らせる社会】\*講師
- 2023/3/26 [鳥栖市（オンライン）] 九州医療専門学校  
【相談援助実習指導】\*講師

スタッフ数：（通年） 2名

対象者：（延べ） 会員、福祉関係者、一般市民、等 1,500名

D. 共生社会実現のための理解促進事業

障害の有無を問わず当たり前前に地域で暮らすことを選べる社会を実現するために、ドキュメンタリー映画とトークイベントを通じて重度の障害があっても地域で暮らす実践を知ること、障害当事者・家族・支援者及び地域住民の理解を促進した。また、パラスポーツ体験会を同時開催することで、さらなる理解を深める工夫を行った。

実施日：10/2

実施場所：サンメッセ鳥栖

スタッフ数：講師2名、実行委員5名、事務局2名

対象者：86名

⑦ 障害児・者を取り巻く福祉・教育・就労等に関する調査・研究事業

支出額 0千円

ヤングケアラー実態調査

ヤングケアラーに対する支援を行うため、鳥栖市内の実態を明らかにする調査について、次年度に実施するため鳥栖市及び鳥栖市教育委員会との協議を行った。

実施日：通年

実施場所：鳥栖市内

スタッフ数：理事・事務局3名

⑧ 児童福祉法に基づく事業

支出額 13,958千円

A. 中原特別支援学校放課後児童健全育成事業（委託事業：みやき町）

障害のある児童がリラックスして楽しめる環境を提供し、就学時間終了後及び長期休暇期間中に安全且つ安心して過ごせる場となるよう目指した。8月に新型コロナ感染者が発生したために臨時閉所を余儀なくされたが、できる限りの感染対策を行いながら継続することができた。

実施日：開所日数 284日

月～金曜 14:00～18:00

土曜・長期休暇中 9:00～18:00（8:30～9:00の延長あり）

実施場所：中原特別支援学校放課後児童クラブゆう  
スタッフ数：(述べ) 1,343名  
対象者：中原特別支援学校に在籍する児童・生徒  
対象人数：(述べ) 2,345名

B. 指定障害児相談支援事業

地域の中で困り感を抱える障害児とその家族に対し、障害児通所支援事業等の利用を通じてニーズの充足を図るために、障害児通所支援事業等の利用申請に必要な障害児支援利用計画書の作成等を行った。

実施日：5月～3月 月曜～金曜 9:00～18:00

実施場所：法人事務所

スタッフ数：(通年) 2名

対象者：主に鳥栖市在住の障害のある児童及びご家族

対象人数：21名

⑨ 障害者総合支援法に基づく事業

支出額 1,033千円

計画相談支援事業

地域の中で困り感を抱える障害当事者や家族に対し、障害福祉サービス等の利用を通じてニーズの充足を図るために、障害福祉サービスの利用申請に必要なサービス等利用計画の作成等を行う事業を行った。

実施日：5月～3月 月曜～金曜 9:00～18:00

実施場所：法人事務所

スタッフ数：(通年) 2名

対象者：主に鳥栖市在住の障害のある方及びご家族

対象人数：4名

⑩ 上記の事業を達成するために必要な事業

支出額 12千円

市民協働事業

当法人のミッション達成にも通じる活動を行う市民活動団体と協働し、事業の実施や団体運営サポートを行うと共に、各種審議会等の委員として

## の政策提言等を行った。

<委員会、会議等>

- ア. 鳥栖市まち・ひと・しごと創生有識者会議（芹田：委員として）
- イ. 鳥栖市市民活動支援補助事業検討懇話会（芹田：委員として）
- ウ. 鳥栖・三養基地域自立支援協議会（構成団体として）
- エ. 鳥栖市障害者理解促進実行委員会（芹田：委員として）
- オ. 鳥栖市社会福祉協議会苦情解決第三者委員（芹田：委員として）
- カ. 鳥栖市社会福祉協議会・ふれあいスクール（芹田：校長として）
- キ. 佐賀県県民協働課・さがすたいるゼミ（芹田：アドバイザーとして）
- ク. 佐賀大学キャンパスライフサポーター意見交換会（芹田：委員として）
- ケ. 佐賀県障害者ピアサポート研修ワーキンググループ（芹田：委員として）
- コ. 心理リハビリテーションの会ホームページ運営委員会（芹田：委員として）

## (2)その他の事業

特定非営利にかかる事業を滞りなく実施するため、以下の事業によって収入の確保に努めた。

### ①自動販売機設置事業

支出額 14千円

本法人を支援する個人宅や企業内に自動販売機を設置し、特定非営利活動に係る事業を資金面で補填した。また、設置に際しては販売機にその設置趣旨を明記し、啓発広報にも活用した。

実施日：通年

実施場所：本法人を支援する個人宅や企業内

スタッフ数：（通年）2名